

### 第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開

#### 1 ヨーロッパ文化との接触と国内統一

#### 2 織豊政権による全国統一（教科書 P.106～109）

##### ▶織田信長の統一事業 [p.106]

###### 統一事業の過程

- 1560年 [ ] の戦い  
[ ]（駿河・遠江・三河の戦国大名）をやぶる
- 1567年 美濃稲葉山城の斎藤竜興をやぶる  
城を [ ] 城とし、城下の加納に [ ] ・楽座を実施  
→肥沃な濃尾平野を手中にする
- 1568年 [ ] を奉じて京都にのぼり、15代将軍に擁立する
- 1570年 [ ] の戦い [ ]（近江）・  
[ ]（越前）をやぶる
- 1571年 浅井・朝倉と結んでいた [ ] を焼き打ちする
- 1573年 信長と対立した将軍足利義昭を京都から追放→ [ ]
- 1574年 伊勢長島の一向一揆を平定
- 1575年 [ ] の戦い 鉄砲隊を用いて [ ]（甲斐）をやぶる  
越前の一向一揆を平定
- 1576年 近江国の琵琶湖沿岸に [ ] を築き始める
- 1580年 [ ] の拠点である [ ] を屈服させる
- 1582年 [ ] にそむかれ、信長自害（ [ ] ）

###### 信長の政策

- 征服地での指出検地の実施（領国の支配権確立）
- 自治都市 [ ] の直轄（豪商などの経済力を統制下に置く）
- [ ] ・楽座（商工業者に自由な営業を認める）美濃加納・近江安土
- 関所の撤廃（物資の流通を円滑にする）
- 撰銭令（貨幣の円滑な流通をうながす）
- 従来の支配秩序を大きく崩す

▶豊臣秀吉の全国統一 [p. 107]

全国統一の過程

- 1582年 [ ] 毛利氏との対戦を休止し、 [ ] を倒す
- 1583年 [ ] の戦い 信長の三男信孝と結んだ [ ] をやぶる  
石山本願寺の跡地に [ ] 築城開始
- 1584年 [ ] の戦い 信長の次男信雄と結んだ [ ] と  
戦い、講和
- 1585年 [ ] になる 長宗我部元親を降伏させ四国平定  
九州に惣無事令
- 1586年 [ ] になり、後陽成天皇から豊臣の姓をたまわる  
関東・東北に惣無事令
- 1587年 薩摩の島津義久を降伏させ九州平定
- 1590年 小田原の北条氏政を滅亡させる  
[ ] を降伏させ東北平定、全国統一

秀吉の経済基盤

- [ ] (直轄地) 約 200 万石
- 大坂・京都・伏見・堺・長崎などの重要都市を直轄 (豪商の経済力を統制下に)
- 佐渡相川 (金山)・但馬生野 (銀山)・石見大森 (銀山) などの鉱山を直轄  
→ [ ] などの貨幣鑄造

▶検地と刀狩 [p. 108]

- [ ]
- 意義…中世の荘園制の解体
- [ ] の原則にしたがって耕作者を [ ] に登録
- 田畑・屋敷地の面積・等級 (石盛) を定め、生産力を石高で表示 ([ ])
- 土地測量の基準を統一 ([ ] の使用, 町段畝歩の単位)
- [ ] 四方を 1 歩とし, [ ] を 1 段とした
- [ ]
- [ ] (1588 年) …大仏建立を口実に百姓から刀・鉄砲などの武器を没収
- [ ] (1591 年) …武家奉公人・百姓・商人等の間の異動を禁止

→身分の固定化（武士と百姓を身分的に区別）

▶秀吉の強硬外交 [p. 108]

当初、信長の政策をひきつぎ、南蛮貿易＝奨励、キリスト教＝黙認

[ ] が長崎をイエズス会に寄進したことを知り、政策転換

→ [ ] (1587年)

その後も海外貿易には積極的

→京都・長崎・堺の商人等による東南アジア渡航を奨励

[ ] (1588年) で倭寇など海賊行為を禁止

▶朝鮮侵略 [p. 109]

中国出兵計画→朝鮮に先導を要求→朝鮮が拒絶→朝鮮に出兵

1592年、朝鮮に15万余の大軍を送る

[( )]

首都漢城を落とすも、明からの援軍や [ ] の亀甲船等に苦戦

→講和交渉→決裂

1597年、再び朝鮮に出兵 [( )] →秀吉の死を機に撤兵

この間、朝鮮から陶工などの技術者や [ ] , 書籍などをもち帰る

国土は荒廃し、豊臣政権の没落をうながす